

編集後記

今年度第1回の紀要委員会で委員一同まず心配したことは、投稿数が昨年の初号に対して急増あるいは急減するのではないかということであった。10月末の投稿締切の結果は論文・作品合せて昨年の18点に対して21点という、最も望ましい漸増の形となって委員一同ほっとしたものである。

本紀要の特色としての査読・評価は今年15人の方々にお願いした。そのうち10人が外部の方々である。査読・評価の結果、投稿者にかなりの修正をして頂いたものも含め、全部で19点の採択となった。

表紙デザインは今年もデザイン学科の山崎稔先生にお願いして第1号のイメージを踏襲しつつ新鮮味を出して頂いた。この場を借りて御礼申し上げたい。また投稿された各先生ならびに編集・出版に御協力下さった方々に感謝申し上げるとともに、来年度も優れた論文・作品が寄せられるよう委員一同期待している。

平成8年3月

紀要編集委員会 委員長 森 典彦

東京工芸大学芸術学部紀要 Vol. 2

1996年3月31日 発行

編 集 東京工芸大学芸術学部
紀要編集委員会

発 行 東京工芸大学芸術学部
〒164 東京都中野区本町2-9-5
Tel. (03) 3372-1321
Fax. (03) 3372-1330

印 刷 有限会社 啓文堂松本印刷
東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12